

Q1 乳がんになりやすいのはどんな人ですか？

- A 乳がんは一般的に次のような人になりやすいといわれています。
- ・初経年齢が早かった方(11歳以下)
 - ・出産経験のない、または初産年齢が遅い方(30歳以上)
 - ・閉経年齢が遅かった方(55歳以上)

これは、乳がんの発生には、女性ホルモンである**エストロゲン**が大きく影響しているためです。エストロゲンは女性の体を作るための重要な働きをしているホルモンですが、**分泌されている期間が長いほど、乳がんのリスクが高まる**のです。妊娠・授乳期には分泌が止まるため、それだけリスクが減ることになります。閉経後はエストロゲンの分泌が止まりますが、別のホルモンが脂肪組織でエストロゲンに変わります。したがって、閉経後の肥満もリスクの一つです。



Q2 乳がんは遺伝しますか？

- A 乳がんが**多発する家系**があります。**家族性乳がん**と呼ばれる**遺伝性の乳がん**と、**生活習慣が共通する環境要因による乳がん**があります。アンジェリーナ・ジョリーさんの予防的乳房切除手術のニュースは衝撃的でした。彼女の家系では乳がんや卵巣がんが多発しており、遺伝子検査を受けたところ、BRCA1というがん修復遺伝子に変異がみつかりました。過去のデータから、この**遺伝子変異がある場合**、その女性は乳がんになる確率が**生涯で87%**となっており、手術に踏み切ったと伝えられています。日本人でも、この**遺伝子変異は数%以上はある**と推定されます。



もっと知りたい！ 先生！乳がん

Q3 香川県ではどのくらいの方が乳がんにかかっていますか？

- A 香川県でも、**近年急激に増えており**、初発の乳がん患者さんは**年間600名を超えています**。**食生活の欧米化により、高たんぱく・高脂質の食事が増え**、日本人の体格は向上しましたが、これに伴って女性の初経の時期が早まり、閉経の時期が遅くなる傾向にあります。**女性ホルモンの影響を受ける期間が長くなったこと**が、近年の乳がん増加につながっていると考えられています。

【医療監修】三豊総合病院院長
香川県がん対策推進協議会乳がん部会長
白川和豊先生

乳がんについての基礎知識が最も有効な手段、検診についてで受けるか分からない、

分かったら、ここでは、乳がんを早く見つけるためでも学びましょう。時間がかかりそう、痛そう、など、あなたの不安を解消します！

Q7 マンモグラフィーは痛いつて聞いたのですが

- A マンモグラフィーは**板状のもので乳房をはさみ、圧迫しながら薄く均等に広げて撮影**します。こうすることによって、少ないレントゲンの被曝量で乳房の中をより鮮明に見ることができるのです。その際、**圧迫による痛みを感じることもある**のも事実です。圧迫される時間は**数秒から10数秒程**。痛みには**個人差**がありますが、乳房の大きさにかかわらず、**乳腺の発達した人の方が痛みを強く感じる**ようです。

Q5 乳がん検診はどこで受けられますか？

- A **40歳以上の女性なら、市町の補助があり少ない自己負担額**で乳がん検診を受けることができます。乳がん検診の費用は6,000～7,000円くらいですが、実際に窓口で支払う**自己負担額は1,000～2,000円くらい**で、残りは**市町が負担**しています。また、一定の年齢の人は検診が無料になる**「無料クーポン券」**が郵送されます。めったにないチャンスです。ぜひ利用して受診しましょう。詳しくは10ページを参考に**お住まいの市町**までお問合わせください。



Q6 胸が小さくても、マンモグラフィーで正確に検査できるの？

- A **胸の大きさが撮影に影響することは全くありません**。男性の胸でも撮影することができますくらいですから心配いりません。

Q8 放射線被曝による健康被害はないのですか？

- A マンモグラフィーによる放射線被曝は、主に乳房だけで、白血病の発生など骨髄への影響はほとんどありません。そのため、**健康被害はないと考えられています**。

Q9 乳がんになったら、必ず乳房を取らなくてはならないの？

- A 乳がん治療のための外科手術には、**乳房を全部切除するものと、部分的な切除によって乳房の形を極端に損なわないようにする乳房温存手術と**があります。現在では半数以上が乳房温存手術であると言われてます。しこりが大きい、乳がんが広範囲に広がっているなどの場合には、全切除が選択されますが、**早期がんの場合は温存手術で済むことが多い**のです。やはり、**重要なのは早期発見**です。

